

プログラミング教育のUPDATEと確実な実施

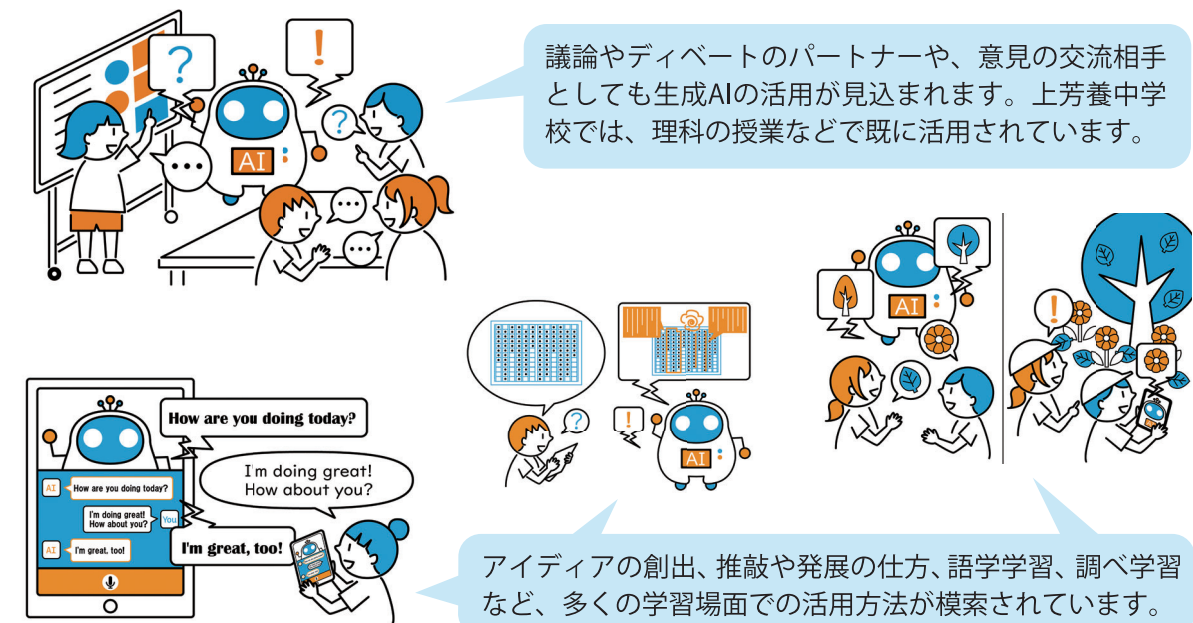
小学校で必修化されたプログラミング教育は、中学校（技術・家庭科）へ引き継がれます。思考力（プログラミング的思考）や問題解決能力を育くむとともに、創作的な活動にもつなげていきます。「きのくにICT教育」では、プログラミング教育の実践事例を、小学校・中学校・高等学校版ともに更新しており、校種を超えて継続的・系統的指導の重要性が示されています。



※プログラミング教育指導案集（令和6年度更新版）については、「きのくにICT教育」のWebサイトを参照して下さい。

「生成AI」の学習利用に向けて

児童生徒らは、適切な使用のための「情報活用能力」を身に着けた上で、学習のパートナー・サポーターとして生成AIの活用を推進します。



※生成AIの利用については、「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（令和6年12月26日公表）」を参照してください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/other/mext_02412.html

GIGAスクールでさらに発展する教育のDX

（デジタルトランスフォーメーション）

ペーパーレス化の推進

業務の効率化とSDGsの両面からペーパーレス化は必然です。クラウド活用によって職員会議のペーパーレス化はもちろんのこと行事予定や各種職員朝会・連絡事項の共同編集、提出書類の相互・共同管理も容易になりました。さらに、学校評価アンケート等のデジタル化によって、入力の手間が省け、迅速にグラフ化・分析でき、報告書作成にも役立てられています。



朝の健康観察のデジタル化

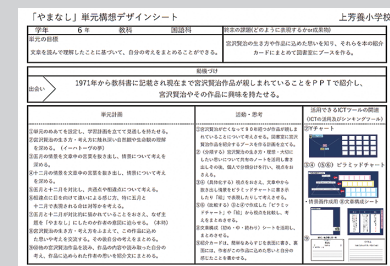
健康観察結果が蓄積されていくことによって、児童生徒らの変容を客観的に捉えられるようになります。また、分散管理されている出欠状況・保健情報、図書の貸出状況・学習状況（ポートフォリオを含む）、授業の振り返り、各種所見等の校内情報とリンクすることで、児童生徒らの違った面を見出したり、先を見越した指導が実現します。

デジタル作品のアーカイブ化

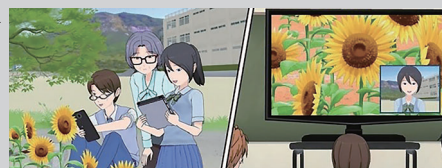
児童生徒等が数多くの成果物（児童生徒等の作成した地域CMや番組等）を作成しています。これらは、地域の様子を児童生徒等の目線で切り取ったその時代の貴重な資料ともいえます。デジタル作品は劣化せず、場所も取りませんが、必要な時にアクセスできるように適切な管理・蓄積方針のもとアーカイブしていく必要があります。

GIGA対応の評価・活用方針の策定

GIGA対応授業計画のために新たな共通理解を図る必要があります。上芳養小学校では「単元デザイン構想シート」にてICT・思考ツールの活用方針が記載されています。芳養小学校ではロイロノートの活用と連動した情報活用スキルの系統表を作成しています。また、三里小学校では「リモート発信単元評価規準表」を作成し、遠隔授業での学びやその方法も評価しています。



交流経験自体を学びとしてとらえて評価する。（三里小学校）



◀単元デザインシートにロイロノート（思考ツールを含む）の活用を位置付ける。（上芳養小学校）

新時代の学習環境の構築

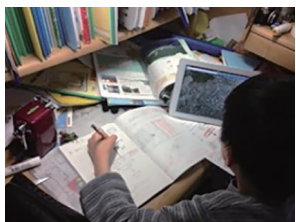
指導の個別化・学習の個性化に対応するために、新しい学習環境が必要です。PC教室はSTEAM教育への対応が迫られています。



明洋中学校のGIGA対応PC室(左)と大塔中学校のMIRAI Lab

反転授業等の計画的実施

タブレットの自宅持ち帰りによって、予習・復習・宿題のあり方が変化しています。各種映像・番組の事前視聴、シミュレーション教材へのアクセス、創作活動を自宅学習とするなど家庭利用と対面授業を組み合わせることで効果をあげています。



GIGAスクール 田辺市教育DX の実現へ

改訂版

令和5・6年度研究テーマ

『対話の広がり、

深まりのある教育活動の充実』

～ICTの効果的な活用を通して～

田辺市教育委員会（令和7年3月）

編集協力：和歌山大学教職大学院 学校支援プロジェクト



【学習の基盤】となる【情報活用能力】

情報活用能力とは

課題を発見する・調べる・まとめる・伝える等の情報活用の実践力をはじめ機器類の操作能力、思考ツールの活用、情報モラル、プログラミング能力等を含む広範囲に及ぶ能力（学習指導要領上、「情報活用能力」は「言語能力」と並び「育成すべき資質・能力」）とされており、計画的に育成を図る必要があります。

タイピングを含む基本操作の習得

各種ツールの基本操作を習得し、書字速度以上のタイピングを目指します。

思考ツールの活用方法の習得

各種情報や考え方を整理する・分析・表現するために「思考ツール」の適切な使い方を学びます。

学習規律を含む情報モラル

情報検索での注意や著作権・肖像権、クラウド上での書き込みのルール・マナーなどをきちんと身につけます。

情報活用の実践力

手段の選択、情報の収集・判断・表現・処理・創造および発信・伝達まで含む一連の力を指します。

情報活用能力は、「意識」して指導にあたり、児童生徒に「見える化」し、「評価する場面」を設定することが重要です。また、学年・教科を通じて「体系化」し、計画的・系統的なカリキュラムを構築していきましょう。

和歌山県教育委員会「きのくにICT」情報活用能力一覧表(令和6年8月公開)

情報活用能力一覧表		【R6 年度改訂版 version1.0】※当一覧表の上位学年の項目は下位学年を達成したものとして記述している			
		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
計画・調査	計画する	これから取り組む活動のために必要な情報について理解している。	情報を得るためにどのような経路の時間や活動、どのような方法でどのような手段を用いることができる。	条件（時間・活動範囲）を踏まえて、課題解決のために適切な情報収集の手段や方法を提案することができる。	目的・条件設定に留意し、情報・収集することができる。また、情報・収集した資料・映像などのデータを整理することができる。
	調査方法の理解	身近なところから情報を得ている。	条件（時間・活動範囲）を踏まえて、課題解決のために適切な情報収集の手段や方法を提案することができる。	条件（時間・活動範囲）を踏まえて、課題解決のために適切な情報収集の手段や方法を提案することができる。	目的・条件設定に留意し、情報・収集することができる。また、情報・収集した資料・映像などのデータを整理することができる。
	写真・映像・音声などの収集	安全や注意による制限に気をつけて、写真を撮影することができる。	安全や注意による制限に気をつけて、写真を撮影することができる。	安全や注意による制限に気をつけて、写真を撮影することができる。	安全や注意による制限に気をつけて、写真を撮影することができる。
	学校図書・資料室での情報収集	必要とする資料があることを確認している。	必要とする資料があることを確認している。	必要とする資料があることを確認している。	必要とする資料があることを確認している。
情報収集	インターネットでの情報収集	ブラウザを起動し、指定したURLにアクセスして、必要な情報を収集している。	ブラウザを起動し、指定したURLにアクセスして、必要な情報を収集している。	ブラウザを起動し、指定したURLにアクセスして、必要な情報を収集している。	ブラウザを起動し、指定したURLにアクセスして、必要な情報を収集している。
	インタビュー	インタビューの目的や対象者を明確にしている。	インタビューの目的や対象者を明確にしている。	インタビューの目的や対象者を明確にしている。	インタビューの目的や対象者を明確にしている。
	メモを取る	日誌・連絡・相手などの情報をメモしている。	日誌・連絡・相手などの情報をメモしている。	日誌・連絡・相手などの情報をメモしている。	日誌・連絡・相手などの情報をメモしている。
	アンケート	聞きたいことを事前に明確にしている。	聞きたいことを事前に明確にしている。	聞きたいことを事前に明確にしている。	聞きたいことを事前に明確にしている。
整理・分析	比較する	2つ以上の出所の異なる情報の共通点や相違点について整理している。	2つ以上の出所の異なる情報の共通点や相違点について整理している。	2つ以上の出所の異なる情報の共通点や相違点について整理している。	2つ以上の出所の異なる情報の共通点や相違点について整理している。
	分類・整理する	まとめることができる。	まとめることができる。	まとめることができる。	まとめることができる。
	図解する	伝えたいことを順序立てて構成することができる。	伝えたいことを順序立てて構成することができる。	伝えたいことを順序立てて構成することができる。	伝えたいことを順序立てて構成することができる。
	構成する	伝えたいことを順序立てて構成することができる。	伝えたいことを順序立てて構成することができる。	伝えたいことを順序立てて構成することができる。	伝えたいことを順序立てて構成することができる。
表現・発信	文書作成・レイアウト	表を作成して数値・項目を記述（入力）することができる。	表を作成して数値・項目を記述（入力）することができる。	表を作成して数値・項目を記述（入力）することができる。	表を作成して数値・項目を記述（入力）することができる。
	表・グラフの作成	取材・収集活動を振り返り、自分の考えを文書化することができる。	取材・収集活動を振り返り、自分の考えを文書化することができる。	取材・収集活動を振り返り、自分の考えを文書化することができる。	取材・収集活動を振り返り、自分の考えを文書化することができる。
	新聞作成	伝えたい内容を選び、紙面のレイアウトを整えることができる。	伝えたい内容を選び、紙面のレイアウトを整えることができる。	伝えたい内容を選び、紙面のレイアウトを整えることができる。	伝えたい内容を選び、紙面のレイアウトを整えることができる。
	ポスター作成	文字や画像を取り付けたスライドを作成することができる。	文字や画像を取り付けたスライドを作成することができる。	文字や画像を取り付けたスライドを作成することができる。	文字や画像を取り付けたスライドを作成することができる。
表現・発信	スライド作成	事前に準備した内容を読み上げることができる。	事前に準備した内容を読み上げることができる。	事前に準備した内容を読み上げることができる。	事前に準備した内容を読み上げることができる。
	報告する	他者の意見を聞いて、話をなつていくことができる。	他者の意見を聞いて、話をなつていくことができる。	他者の意見を聞いて、話をなつていくことができる。	他者の意見を聞いて、話をなつていくことができる。
	ディスカッション・協議	スライドやポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。	スライドやポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。	スライドやポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。	スライドやポスターに書かれたことを読み上げながら発表することができる。
	プレゼンテーション	情報モラルやマナーに気を付けて、自分の考えをネットワークなどに書きこむことができる。	情報モラルやマナーに気を付けて、自分の考えをネットワークなどに書きこむことができる。	情報モラルやマナーに気を付けて、自分の考えをネットワークなどに書きこむことができる。	情報モラルやマナーに気を付けて、自分の考えをネットワークなどに書きこむことができる。

詳細版（操作スキル・情報モラル・プログラミング能力等を含む）は下記URLにアクセスして下さい。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500100/jyouthouka/d00213120.html>
もしくは「きのくにICT」で検索

GIGAスクール の重点目標

【個別最適化学び】と【協動的な学び】の実現

指導の個別化

一定の学習目標を全ての児童生徒が達成することを目指し、児童生徒らの個々の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等を工夫し、柔軟な指導を行います。個々の児童生徒に応じて異なる方法等で学習を進めることもあります。また、支援の必要な子供に対して、より重点的な指導・効果的な指導を実現していきます。



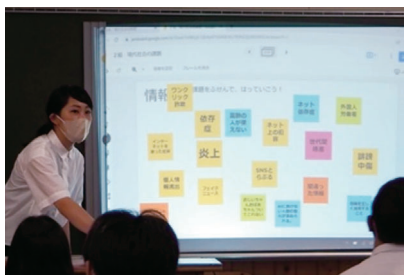
学習の個性化

児童・生徒らの興味・関心等に応じ、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が個々の児童生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を設定することで、学習が最適となるよう調整していきます。この実現のためには、「言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等」の「学習の基盤となる資質・能力」が必要です。



協働的な学び

ロイロノート等で意見を書いたり、情報をまとめたり、思考を可視化すれば、学級内での共有・協働作業が容易です。他者の情報を参照することで、比較・検討し、自身の学びをブラッシュアップしていきます。また、協働的な学びは、学校外にも広がります。教育クラウドやテレビ会議アプリを使用することで、他校や他所の専門家とつながり学ぶことも出来ます。こうして、他者を価値ある存在としてとらえることも重要です。



教科書準拠二次元コードコンテンツへのアクセス



教科書に掲載されている二次元コードを読み取り、各種の資料・映像等を個々の学習進度に応じて活用していきます。

◀◀間接指導時での利用の様子（上秋津小学校・大坊小学校）

※多様な教材や学習方法を体験し、児童生徒自身が自らに適した学習の進め方を学んでいくことも「指導の個別化」のねらいです。

各種ウェブサイトコンテンツの活用

ウェブサイトの各種デジタル教材に児童・生徒自身でアクセスして利用（学習系、図鑑系、地図、コミュニケーション教材、動画解説等多様な学習コンテンツを個々のタブレットで活用）

ドリル系個別学習アプリの活用

すらら・eライブラリなどの個別学習アプリは、朝学・家庭学習にも計画的に取り入れられています。また、学習履歴（スタディログ）を分析して、苦手分野の指導にも活かします。

創作的な活動へ

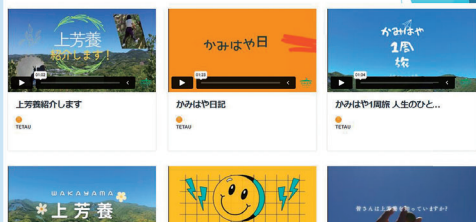


▼「世界遺産サミット in たなべ」で自信をもってプレゼンに挑む児童の様子（三里小学校）

デザイン性の高いリーフレットを作成し海外へ発信（秋津川小学校）

児童らが作成した 地域・家庭向けの番組が QR コードを読み取ると視聴できる（芳養 小学校）

地域のよさを発信するために動画を作成



◀専門家の指導のもと地域PRビデオを各生徒が作成し情報発信（上芳養中学校）

紀州備長炭の歴史と効果リーフレット



▼Canva のテンプレート機能を用いて、取材活動のまとめや各種プレゼンテーションを作成（上芳養中学校）



田辺市内の学校との遠隔交流学習



▲年間を通じて複数の地域の学校と交流（秋津川小学校）



キャリア教育での専門家との交流（上芳養中学校）▲

「自由進度学習」など、より主体的な学びへ

クリエイターとして創造性を解き放つ活動へ